

第130回 教育研究評議会 要 録

日 時 平成27年7月15日（水）午後1時02分～午後2時22分
場 所 第一会議室
出席者 今岡学長，井上理事，小路田理事，角田理事，笠井理事，
柳澤文学部長，林井理学部長，三木生活環境学部長，中島人間文化研究科長，
内田，野村，小林，春本，黒子，三成，出田，上江洩各評議員
列席者 横山学長補佐，小川学長補佐，久保学長補佐，酒居監事，福田監事，
岩阪総務・企画課長，山下情報管理活用監，小田原国際課長，乾研究協力課長，
西田財務課長，齊藤施設企画課長，藤熊学務課長，木下学生生活課長，
名賀入試課長，秋庭学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

I 審議事項

1. 非常勤講師の配置に関する人事計画について

学長から，資料1-1及び1-2により，平成28年度授業計画における非常勤講師の配置に関する指針（案）及び平成28年度授業計画における非常勤講師の配置に関する人事計画画面の指針（案）について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。

2. 監査戦略室の体制について

笠井理事から，資料2により規程（案）及び学長直属の位置づけとする組織案について提案があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

3. その他

特になし。

II 報告事項

1. 第46回経営協議会及び第157回役員会について

学長から，6月25日に開催された第46回経営協議会及び6月26日に開催された第157回役員会の審議概要について報告があった。

2. 第3期中期目標・中期計画について

小路田理事から，第3期中期目標・中期計画の素案を資料3-1のとおり6月末に文部科学省に提出したとの報告があった。また，素案の補足資料として提出した資料3-2及び資料3-3について，本学が選択する重点支援との関係を明確にするよう作成したとの説明があった。

女子大であることを最大の特色と位置付けるための根拠となる男女の特性の違い，女性リーダー育成のための理系と文系との関係性等に関し種々意見交換があった。今後文部科学省から修正を求められる可能性もあるため，それに併せて表現の調整を検討することを確認した。

3. 大学院人間文化研究科教授会規則及び大学院人間文化研究科代議員会規則の一部改正について

大学院人間文化研究科長から，資料4-1及び4-2により，大学院人間文化研究科代議員会の議を経て改正された大学院人間文化研究科教授会規則及び大学院人間文化研究科代議員会規則について，報告があった。

4. 平成27年度学術情報センター耐震改修工事期間におけるサービス等について

井上理事から，資料5により改修の概要と方針，工事期間中のサービスについて報告があり，併せて協力依頼があった。

5. 各室からの報告について

入試課：

平成27年度第1回目のオープンキャンパスを7月25日（土）に実施するとの案内があり，関係教職員の協力依頼があった。

倫理・人権委員会：

平成27年度の人権問題研究集会（前期）について，9月24日（木）10時から11時30分に実施予定との案内があった。なお，今年度は学生支援室障害学生支援部門との共催による実施との説明があった。

監査戦略室：

7月29日（水）15時30分から開催予定の「適正な研究活動及び研究費の使用に関する研修会」について，研修会の位置付けや参加対象者等について整理の上，後日改めて全学に案内を発出予定との説明があった。

6. その他

角田理事から，8月23日（日）開催予定のホームカミングデーの位置付け及び実施規模について説明があり，これを確認した。各学部から教員1名程度の協力について，近日中に各学部長に依頼するとの案内があった。

以上